

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス みよしMoMo		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 1日		～ 令和7年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33名	(回答者数) 31名
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 1日		～ 令和7年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 10日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	併設する幼稚園の園庭や遊具を利用することができ、その他にもプレールーム、大ホール、室内プール等も利用することができるため、幅広い活動を提供することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 併設する幼稚園の園庭には大型の海賊船や滑り台などの遊具が整っている。園庭にはビオトープが整備されており、メダカが生殖する川や池があり、自然との触れ合いができる環境となっている。 プレールームにはボルダリングができる壁があり、雨天時にはサッカーや鬼ごっこ等の集団遊び等で利用している。 大ホールはマット運動や跳び箱、鉄棒等を利用することができ、思いっきり体を動かすことができる。 室内プールは猛暑で外のプールが使えない時などにも利用している。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和7年4月1日に事業所の移転が予定されており、これまでのように有効に利用することができなくなるが、代替の環境を整備していくように努める。
2	幼児期からの継続した支援を受けることができる環境が整っている。	<ul style="list-style-type: none"> 幼児期には同じ敷地内にある児童発達支援を受けることができ、年齢期には当所の放課後等デイサービスの利用ができるため、途切れることのない継続した支援を受けることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、幼稚園や児童発達支援事業所との連携を強化し、継続した支援の充実を図るように努める。
3	支援の質の向上を図るよう取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の子どもに応じた内容の支援を提供することに心掛け、充実した楽しい時間を過ごせるよう取り組んできた。 職員間のチームワークを図り、子どもが安全に安心して過ごせる環境を提供してきた。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもや保護者の満足度の向上を図り、利用してよかったと思って頂ける施設作りを目指していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 開設から9年が経過したが、業務改善のための積み重ねが充分出来ていない。 	<ul style="list-style-type: none"> PDCAサイクルが十分に機能していない。 	<ul style="list-style-type: none"> PDCAサイクルを意識した取り組みを行い、目標管理を中心とした業務改善を推進していく。
2	<ul style="list-style-type: none"> 他事業所との関わりを通して情報を収集する機会が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業所との関わりを通して、必要な情報を得ることができるように環境を整えていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業所との情報共有を図り、国(厚生労働省)のホームページや県のホームページを定期的に関連し、常に情報収集に努めるようにする。
3	<ul style="list-style-type: none"> 家族支援プログラムや家族等が参加できる研修の機会等が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 日々の業務に追われてしまい企画ができない。 	<ul style="list-style-type: none"> 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対しての家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行うようにする。